



中の
川よ
荒だ

青い雲



教育目標

「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

目指す学校像：「あいさつがまんあとしまつ」ができる生徒

村上市立荒川中学校

令和3年度第4号

令和3年7月14日発行

1学期を振り返って

校長 渡辺 安治

梅雨は草木や田畑の作物にとつて、『恵み』であつてほしいのですが、今月に入つてからは、想像を絶する自然災害を引き起こしました。東海地方で豪雨による土石流が多くの人命を奪ひ、甚大な被害を出しました。被災された多くの皆様に、心よりお悔やみ申し上げます。私たちもいつ、災害に見舞われるか分かりません。日頃から、災害を想定した避難訓練、備えが大事であると強く感じます。

体育祭に向けての取組も始まりました。先日、生徒朝会で赤・青・緑の三連合が決定しました。三年生の学級数に合わせたものです。一・二年生は、学年二クラスを三グループに分けて抽選しました。抽選するまでに、各グループの代表者二名が協力して、レクリエーションのレースを行いました。その結果により抽選しました。これから各連合の結団式があります。三年生のリーダーを中心に団結し、力強く華やかで楽しい体育祭になることを期待しています。今回もコロナ禍での取組となります。三密をどう避けるか、競技種目をどう工夫するかは、生徒の実行委員会と共に知恵を絞って行く予定です。

全学年、国語の授業で「わたしの主張」を書いていきます。これは毎年、県教委が中心となり主催していま

す。「変化の激しいこれからの社会を担う中学生が、日頃考えている建設的な意見を発表する場を設け、広い視点から自らの主張を正しく伝え理解してもらう力をつける」ことを主な目的としています。学校や家での出来事、勉強や部活動のこと、友人やいじめ問題、命・健康など、テーマは生徒自身が決定します。訴えたいことから構想を練り、結論へと向かいます。授業中、鉛筆を走らせたり、パソコンで文字を入力したりしてまとめるために一生懸命です。一番のポイントは自分の経験から「今までにないものを発見した」、「自分が深く考えるきっかけとなった」、「自分の行動が変わった」など新たな自分との出会いです。どの生徒も『新たな自分』と出会い、生活・生き方がよりよい方向に変われることを期待しています。

もうすぐ夏休みです。地域の皆様、保護者の皆様のお陰で今学期も命に関わるような大きな事故もなく、元気に休みを迎えることができそうです。生徒の命、健康・安全を第一とした学校の教育活動にご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。夏休みも命、健康・安全を第一にお願いします。そして、全員が、元気に二学期を迎えてくれることを切に願っています。一学期、誠にありがとうございました。